

ワークライフバランスって？

仕事も育児も自分らしく…

私は、内閣府男女共同参画局への出向中に妊娠し産休に入りました。働く女性の支援や、ワークライフバランス、DV対策等を担当する部署です。そのため、妊娠したときには仕事上ワークライフバランスを推進する立場にいたわけですが…、自分とは言うとも仕事中心の生活。妊娠が仕事の仕方を見直すいいきっかけとなりました。周囲の理解とフォローにも支えられ、テレワークや時差通勤を活用して無事出産することができました。現在は、仕事中心だったときには考えられないほどどっぷり育児中心の生活を送っています(笑)。

最近はロールモデルとなる先輩方も増え、妊娠・出産・育児・介護等、色々なライフステージに合わせて自分らしいタイミングで柔軟な仕事の仕方ができる環境が整っています。

これから社会人になるみなさんがどのような生き方を選択するかはみなさん次第。ぜひご自身のワークライフバランスを上手くコントロールして充実した社会人生活を送ってください。



恩田 友紀
Onda Yuki
平成 11 年入省

総務省
職員の

子育てママからのメッセージ

ワーク・ライフ・バランス

「女性の力」を職場と家庭で発揮させよう！

現在、行政評価局に所属しており、現在は、預かり施設を中心に子育て支援に関する各府省の業務の現場における実施状況を調査し、課題や問題点を把握・分析した上で改善方を提示する仕事を行っています。私には3歳と2歳の子供がおり、まさに自身にとってタイムリーな仕事として取り組んでいるところです。

2015年4月に二人目の育休を終えて2度目の職場復帰でしたが、子供が一人と二人では全く状況が違い、通勤時間も長いため、当初は不安も多かったです。しかし、朝夕2時間の育児時間制度を活用し、遅らせて出勤することで、朝のうちに夕食の支度もでき、お迎えの時間にも間に合うように退庁することができています。仕事の方も、周りの方は子育てに理解がある方ばかりなので、子供の病気や行事等でも看護休暇やテレワークを利用し、夫の協力も得ながら、仕事と育児との両立をさせてもらっています。

現在は産休・育休を取っている女性が増えており、それに対する職場の理解・支援が進んでいます。様々な家庭環境に合わせてながら仕事を長く続けていける環境だと思っています。



行政評価局
評価監視調査官
鳥井 美智
Michi torii
平成 17 年入省